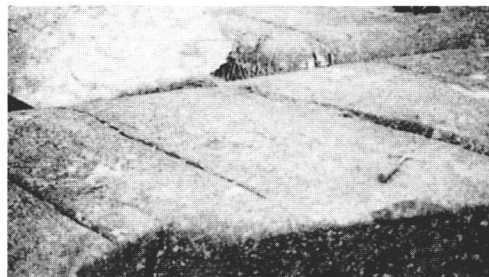




〔日山頂上付近で見られる岩塊群〕  
見事な節理のある花こう岩の岩塊。岩塊は傾きながら少しずつずれ落ちていくところ。

密な名称は花崗閃緑岩、俗称御影石という)であって、わずかに日山の西方の中腹あたりに石英の粒の大きい斑晶をふくんでいる石英斑岩が分布している。花崗岩はザラザラしていて、中にふくまれている石英・斜長石・カリ長石・黒雲母・角閃石は肉眼で見わけが付きやすい。このように粒のあらいのは、マグマがわりあい深いところで、ゆっくりと冷えながら大きく結晶をつくりあげたためである。ところでこの花崗岩は、阿武隈山地には大へん広く分布しているが、さきに山形県から秋



〔日山頂上付近の花こう岩〕  
平行に走る見事な節理は、まるで畳を敷いたようだ。



〔日山の頂上付近の露岩〕  
頂上に近いところに見られる墓石状岩塊、四角形の形をした岩塊が多い。